



木守り専科

きまもりせんか

国産 ● 高機能 ● ナチュラル

基本塗装マニュアル



FIRE Protect 防災



WEATHER Protect 耐候

シオンの“きまもり”は、国産●高機能木部塗料。しかもナチュラル。
木部を守る「**防災**」と「**耐候**」をお届けします。

<http://kimamoli.jp>

木守り専科

検索



XION Co., Ltd
株式会社シオン

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-8-1
TEL: 019-677-7060 FAX: 019-637-3190
E-mail: info@xion.co.jp

<http://kimamoli.jp>

木守り専科 検索

まずは、確認と下準備



① 木の表面確認

塗装する表面のほこり、水分、油分等を取り除いて、必要に応じてサンドペーパー(#180~240)で表面を研磨して整えてください。



② 塗料の攪拌(かくはん)

成分、顔料が沈殿しているため、使用前に攪拌棒等でよくかき混ぜてください。

※鋭利なものを攪拌に使用しないでください。木守り専科は油性と水性の混合タイプの塗料となります。内面を傷つけてしまうと、コーティングが剥がれてしまい、錆(さび)が発生する原因となります。十分ご注意ください。



馬毛、豚毛のようなコシの硬いもので、薄塗りを心がけてください。



使い古したTシャツ等、薄手で手触りの良いものに、塗料を少量付けて塗装してください。

木守り専科FIRE Protect における下処理

① 下処理における準備

木守り専科FIRE Protect防災強化下塗り剤FPベースには、ホウ酸系成分が沈殿しております。ご使用前には必ず攪拌してからご利用ください。また、下処理の仕方によって期待される防災効果が変わりますので、下記をご参照ください。下処理後、本塗装へと進めてください。

② 防災強化下塗り剤FPベース使用方法

●**防災効果：塗るだけで木の炎焼を防ぐ防災効果が期待可能。(現場塗装向け)**

▷防災強化下塗り剤FPベースを刷毛やスポンジで2回塗りをを行います。ふきとりの必要はありません。

●**準不燃効果：どぶ漬けすることで準不燃効果が期待可能。(稀に白華が起きる可能性あり)**

▷防災強化下塗り剤FPベースをどぶ漬け処理を行います。約2日間程度どぶ漬けし、しっかりと乾燥させます。(どぶ漬けし過ぎると、白華現象が起こる場合があります)

※木守り専科FIRE Protectならびに防災強化下塗り剤を活用すると、準不燃と同等の効果を期待できますが、直ちに国土交通省認定の準不燃木材とはなりません。国土交通省の認定はお客様がご利用される木ごとに厳格な試験を受ける必要があります。この点十分ご注意ください。

取扱上のご注意

- 木材の種類により色の映え方が異なる場合がございますので、実際にご利用になる材に試し塗りをしてからご使用ください。
- 他の自然塗料、化学塗料、ワックスと混ぜないでください。
- 施工マニュアルに記載されている乾燥時間は、気温20℃における目安です。木の種類、気象条件(温度、湿度)により乾燥が遅くなる場合がございます。イペ、ウリン等硬質な木材は、塗料が浸透せず、乾かないことがありますので、十分ご注意ください。
- 使用した刷毛、布(ウェス)は水に浸け、水分を含んだ状態で処分してください(自然発火防止)。そのまま処分すると、植物油を使用しているため、自然発火の恐れがありますので、取扱には十分ご注意ください。
- 使用後は、直射日光の当たらない涼しい所に保管し、開封後は1年を目安にお早めにご使用ください。

木目を“つぶす”塗装方法(WEATHER Protect、FIRE Protect対応)

屋外向け



③ 塗装(1回目)

刷毛またはスポンジ等で、薄く均一に塗布してください。

※厚塗りは塗装不良の原因となりますので、塗りすぎ厳禁です!!



④ 乾燥(気温20℃程度)

ほこりやゴミ等がかからないようにして、約24時間乾燥させてください。

※温度、湿度により乾燥時間は変化します。気温が低い、湿度が高い場合は、長めに乾燥時間を取ってください。



⑤ 塗装(2回目)

屋外では耐候性を高めるために、1回目の塗装が乾燥した後に、上記の③→④の容量で2回目の塗装を行ってください。その後は、同様に約24時間乾燥させてください。

木目を“活かす”塗装方法(FIRE Protect対応)

屋内向け



③ 塗装

刷毛またはスポンジ等で、薄く均一に塗布してください。

【おすすめ】布(ウェス)に直接塗料を付けて塗装すると、ふきとりもいらず、きれいに仕上がります。

※厚塗りは塗装不良の原因となりますので、塗りすぎ厳禁です!!



④ ふきとり

塗装して1~10分経ちましたら、木が吸収しきれず表面に残った塗料をきれいな布でふきとってください。

※厚塗りした場合、ふきとりをしないとベタツキの原因となりますので、ご注意ください。



⑤ 乾燥(気温20℃程度)

ふきとり後、ほこりやゴミ等がかからないようにして、約12~24時間乾燥させてください。

※温度、湿度により乾燥時間は変化します。気温が低い、湿度が高い場合は、長めに乾燥時間を取ってください。

開封後保管方法

木守り専科は開封後、主成分の亜麻仁油(植物油)と空気中の酸素が反応し、「塗料の上面に薄い膜をつくる」ことがあります。また、さらにこの反応が進むと、かなり厚い膜になることがあります。この現象を避けるためにも残った塗料はお早めにご利用ください。缶を保管する場合は、以下の手順にて行ってください。

手順

- ① 缶の口に付いた塗料、塗料の固まりをウェス、ドライヤー等を使い、キレイに取り除きます。
- ② 缶のふたを閉め、しっかりと密閉してください。
- ③ 缶のふたを押さえながら、上下に軽く振ってください。
※缶容器を上下に振ることにより、缶の中にある酸素の滞留を防ぐ効果があります。
- ④ 缶をビニル袋に入れ、空気が入らないようにして、密封してください。
- ⑤ 次回回す際、薄い膜ができた場合は、膜を取り除き、よくかき混ぜてご利用ください。